

# タロットカード術講座

後悔しない生き方のために

河野順子

えにし書房

タロットカード術 講座 目次  
( 後 幅 狭 い 生 き 方 の ため )

チェックリストでわかる人生のパターン 37パターン

チェックリストでわかる人生のパターン————— 6

「人生のパターン」を知って占いの幅を広げる…6

統計論は占いの土台…6

問診 37パターン

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1 浮浪者運…8              | 2 一生お姫様で終わる運…10 |
| 3 犯罪繰り返し運…11          | 4 男好き運…12       |
| 5 しくじり人生運…13          | 6 行き倒れ運…14      |
| 7 お坊ちゃま運…15           | 8 お嬢様運…16       |
| 9 一生独身運…17            | 10 マザコン運…18     |
| 11 病弱妻運…19            | 12 家庭不和運…20     |
| 13 不運結婚運…21           | 14 子孫、子運のない運…22 |
| 15 教育者運…23            | 16 子ども縁のない運①…24 |
| 17 子ども縁のない運②…25       | 18 玉の輿運…26      |
| 19 母親死別運…27           | 20 別宅運…28       |
| 21 病弱夫運…29            | 22 ダメ夫運…30      |
| 23 夫死別運…31            | 24 再婚運…32       |
| 25 母子家庭・本人（母）が末っ子運…33 | 26 母子家庭の晩婚運…34  |
| 27 適齢期結婚で母子家庭の運…35    | 28 平凡運…36       |
| 29 名誉リベンジ運…37         | 30 貧乏克服運…38     |
| 31 病弱克服運…39           | 32 結婚願望のない運…40  |
| 33 一業こだわり運…41         | 34 仕事人間運…42     |
| 35 婿養子財閥運…43          | 36 成り上がり成功運…44  |
| 37 大財閥運…45            |                 |

## タロットカード編

1. はじめに	48
2. タロット (TAROT) カードの解説	48
その始まり…48	
カードの内容 (ウェイト版) …49	
3. 占い方	49
道具・用意するもの…49	
絵カードから読む…50	
「シンクロシティ」「偶然性の一致」…50	
4. タロットカードの絵柄と意味	53
タロットカードとトランプカードのつながり…53	
小アルカナ	
小アルカナ四元素のストーリー (数字の法則) …54	
小アルカナ数字の法則…55	
小アルカナ数字カード…57	
コートカード 16 の人間像…67	
小アルカナ人物カード…69	
大アルカナ	
大アルカナのストーリー (普遍的法則) …73	
大アルカナカード…78	
5. カードの手さばきと使い方	89
シャッフル (混ぜる) …89	
デッキ (山・まとめる) …90	
6. リーディング (読み方)	90
置き方 スプレッド (展開) …90	
カードの並べ方…92	
7. 実践 カードの読み方 (鑑定)	94
質問を聞く…94	
例題…95	
8. タロットカード回答	96
小アルカナ数字カード…96	
小アルカナ人物カード…98	
大アルカナメジャーカード…99	
9. 参考の章	101
1. 目的・目標…101	
2. 視点…103	
3. 判断…104	
占いの仕事のそれから	107

## 占いの仕事のそれから

占い店を始めるきっかけは何ですかとよく問われます。

一言でいえば「後悔しない生き方のため」と答えるでしょう。

夫が事故で亡くなってから始めた占いの勉強。気がつくとカルチャー講座の講師となり、占い店を開いていつの間にか10年を過ぎていました。

私の夫は、1997年に北極点に日本人初の単独で徒歩で到達した冒険家でした。夫が今も健在なら、本を書くことも、占いを学び、カルチャー講座などで教えることも、占い店を開くこともなかったかも知れません。日本人初の北極点単独徒歩横断を果たした夫「河野兵市」は2001年、再度、ご



支援くださる方とともに北極点から日本を目指し、徒歩で横断する途中、北極海の氷の割れ目に転落する事故にあい、還らぬままとりました。

私の知る夫は、名声を好む冒険や、人のできない恐怖に立ち向かうことが好きなわけでも、決して1人が好きなわけでも、人間嫌いであったわけでもなく、人に気遣うことは人一倍で、子煩悩で料理好きな家庭的な人柄でした。

最期の北極点へ旅立つ前には、私が仕事で帰りが遅くなっても子どもたちがすぐに夕飯にありつけるように、家の冷凍庫に毎日食べても1ヵ月は食べ続けられるほどの餃子を作って出かけました。知恵や身体を使わずに楽をしてお金を貰おうとするな、という考えの人でした。人が喜ぶことをして楽しませたい。人があきらめていたことをあきらめなくなるきっかけを作りたい。それには、ごまかしや偽物はだめだ。本物であること。本物であるために、苦しくても当然だと考える人でした。

夫の死後、私がある結論に至ったのは、人の考え方はというものは、生きていても死んだとしてもその人自身が作り上げて来たもので変わりはない

ということ。それぞれの人生の目的は違っても、後悔しない人生を歩むことはどんな人においても同じだということ。夫が亡くなって私が最も重視したのは、後悔しない生き方でした。

もしも今も夫が健在なら、占いの勉強はしていなかった。片親で子育てしながら会社に勤め、勉強を始めるなんて、そんな大変なことはしなかったはずです。でも、夫がいたら、夫がしてくれることに当たり前で満足して暮らしていたのだろうかと思う時、その当たり前であることが最も貴重だと気づかされるのが山ほどあると感ずます。人は大事なものを失って気づかされることもなかったと思うのです。夫がいなくなったから、気づかされた多くのことで今の私があるのだと感じています。

夫が亡くなった時幸いだったのは、中学1年12歳だった娘と小学2年8歳だった息子がいたことです。興味を示すものがわかりやすく明確な生き方をする2人でした。それぞれの目指すものに向かって、懸命に頑張ってきてくれたと心底感心しています。そして、子どもの頃から好きなものを仕事にする夢を実現させて頑張っている2人の姿は親ゆずりでしょうか。

他人から見ると河野兵市という夫と結婚した私は、最高の結婚相手を見つけた結婚運の良い人のように思うかも知れません。しかしそうではありません。私は進学もうまくいかず、進路もうまく決まらず、結婚相手もなかなか見つからなかったのが本当のところでした。

自分の好きな道で生きてみよう。好きな道で下積みをしようと目線を変えることですべてがうまく動いていくのを感じました。美術や美容の勉強を始めるために上京し、テレビ番組を制作する仕事の中でヘアメイクというに就いてからは、運はうまく回り始めたようです。その当時は、携帯電話も留守番電話もなかった時代だったので、1つの仕事（ドラマ・舞台）がクランクアップ・千秋楽を迎えると、アパートの部屋で、番組の制作担当者から次の仕事の電話がかかってくるまで、家から一歩も出ずに待っていました。ようやくかかってきた電話が、何よりも嬉しいものでした。

人の幸福感とは、実は、必要とされる量によると父が話していたことを思い出します。仕事運がある人は、一般的に結婚運が悪く、平凡な結婚には不

向きです。自分に合う生き方をすれば運が上がると感じたのは、もっと後になってからですが、私の転機は27歳の誕生日の翌日に父が癌で亡くなったことです。

長男に生まれた父は疑うことなく家業を継ぎ、その三女末っ子として生まれた私は、父の苦労を見て育ちました。父の愛情を一身に受け、大家族の中で幼い頃からいろいろな人を見て育ちました。その父の死に直面したことは、それまでの人生にない悲しみでした。その悲しみを忘れない一心で結婚相手を探しても見つかりません。今思えば当然です。自分自身を変えられないにもかかわらず、結婚しようとしても相手が見つかるはずはありません。ですからその後、夫となった河野兵市に出逢った時には、すぐに答えが出ました。

人生は好調な時ばかりではありません。だからと言って不調な時を辛抱しろと言われてもなかなかできるものではありません。しかし不調な時から、好調につながるということもあります。人は、案外、不調な時こそ、自分自身の本質に気づくこともあるのだと感じます。

今年、私も還暦を迎えます。

夫「河野兵市」が日本人初の単独徒歩で出身地、愛媛県の支援を受け「北極点に到達」してから5月3日で20年になります。その時、娘は8歳、息子は4歳でした。記録は更新されます。しかしその功績と精神、生き方は受け継がれるはずです。



2年前、気丈で勝気な母が、実家の居間で突然亡くなっていました。誰にも別れを告げぬ86歳の最期でした。自らの過ちを決して謝ることのできない勝気な母は、通院も介護も選ばず、老いた自分の最期を神妙に語るような人柄ではないことを、娘の私は十分に知っていました。

亡くなった後、私が母の日に贈ったプレゼントを枕元にそのまま積み上げていたのを確認した時、涙がにじみ出てきました。人の人生とは、いかなるものなのか、満足な一生を送れたのか、人は、うまく行かない中で、迷い、間違えるものです。間違ったら、謝罪し、またやり直し、生き直すことで、本

当の幸を積み重ねることができるのだと、母からまた教えられている気がしてなりません。

年月を重ねるとともに人は大人になり、老いて別れを告げていきますが、この世に自然があって人間が生き続けることに変わりはありません。

そしてこの本の最後に繰り返し申し上げたいのは、それぞれの人生の目的は違っても「後悔しない人生を歩む」ことがどんな人においても同じ幸せだということです。

この本をお読みくださった皆様が「後悔しない人生を歩むこと」を願ってやみません。

最後に『絆——河野兵市の終わらない旅と夢』（河出書房新社 2002 年）、『自分がわかる手相術——一歩踏み出す勇気のために』（彩流社 2012 年）の続編のような形で今回出版をさせていただいてきました。出版というチャンスを与えて下さいました関係者の皆様、編集をお手伝いくださいましたえにし書房を起ち上げられた社長の塚田敬幸様に心より感謝申し上げます。

2017 年 3 月 河野 順子

## 【著者紹介】河野 順子 (コウノ ジュンコ)

1957年生まれ。手相鑑定士。認定臨床心理カウンセラー、臨床心理療法士。横浜中華街、横浜大世界館内の占い店「えがおの神様」店長。多くの占い講座の講師をつとめ、分かり易い指導に定評がある。NPO「河野兵市 心と夢クラブ」代表理事。テレビ、舞台のヘアメイクの仕事をしていた1987年にパキスタン・ナンガパルバット登山隊に参加。河野兵市氏と知り合い翌年結婚。

2001年5月、日本人初北極点単独徒歩到達など多くの偉業を成し遂げ、冒険家として知られていた夫、河野兵市が北極点から698キロ徒歩横断地点で死去。以来、シングルマザーとして1男1女を育て上げる。著書に河野氏の生き方と家族のありのままを綴った『絆——河野兵市の終わらない旅と夢』(2002年、河出書房新社)、手相術をわかりやすく解説した『自分がわかる手相術——一步踏み出す勇気のために』(2012年、彩流社)がある。



Emishi Shobo

## タロットカード術講座

後悔しない生き方のために

2017年 3月 30日 初版第1刷発行

■著者 河野順子  
■発行者 塚田敬幸

■発行所 えにし書房株式会社  
〒102-0074 千代田区九段南 2-2-7 北の丸ビル 3F  
TEL 03-6261-4369 FAX 03-6261-4379  
ウェブサイト <http://www.enishishobo.co.jp>  
E-mail [info@enishishobo.co.jp](mailto:info@enishishobo.co.jp)

■印刷／製本 モリモト印刷株式会社  
■DTP／装幀 板垣由佳

© 2017 Junko Kono ISBN978-4-908073-36-6 C0011

定価はカバーに表示してあります

乱丁・落丁本はお取り替えいたします。

本書の一部あるいは全部を無断で複写・複製(コピー・スキャン・デジタル化等)・転載することは、法律で認められた場合を除き、固く禁じられています。